

### Ⅲ. 施設規模の設定

#### Ⅲ－1. 建物規模の設定

##### 1. 規模の目安値

建物規模については、必要炉数に応じて、文献(注1)による事例研究及び近年建設された火葬場の事例分析を指標として用いる。また、地域慣習への対応や円滑な葬送儀式が行なえるよう運営者へのヒアリング等を適宜行い、計画に反映させる。

表-Ⅲ-① 文献及び実例による建物規模

	文献(注1)	C市	D市	E市
人体炉数	6基	6基+予備1基	6基	5基+予備1基
延べ面積(注2)	2,480~3,050㎡	3,000㎡	3,000㎡	2,270㎡
敷地面積	25,000㎡ (郊外立地)	16,933㎡	21,000㎡	6,695㎡
計画策定年	—	平成12年	平成24年	平成16年

(注1) 出典:建築設計資料 建築思潮研究所編

火葬場の建設・維持管理マニュアル 日本環境斎苑協会

(注2) 斎場が無い場合の面積

#### Ⅲ－2. 敷地規模の設定

##### 1. 必要駐車台数の検討

###### ① 普通乗用車等

###### a. 会葬者用車両

- ・ 既存施設における一会葬当たりの平均的乗用車台数(タクシーを含む)を調査し、これに計画目標年次の同一時間帯(集中日)の稼動炉数を乗じて車両台数を算出する。
- ・ アンケート調査より、4台/一会葬当たりとする。
- ・  $4台 \times 集中日稼動炉数5基 = 20台$

###### b. 車椅子使用者用車両

- ・ 大阪府の福祉のまちづくり条例及び周辺事例により算出する。
- ・ 2台以上とする。

###### c. 僧侶(神官、牧師等を含む)用車両

- ・ 既存施設における一会葬当たりの平均的台数(タクシーを含む)を調査し、これに計画目標年次の同一時間帯(集中日)の稼動炉数を乗じて車両台数を算出する。
- ・ アンケート調査より、1台/一会葬当たりとする。
- ・  $1台 \times 集中日稼動炉数5基 = 5台$

###### d. 職員用車両

- ・ 敷地位置を考慮して、すべて1人乗車の自家用通勤とし、職員数と同数台を確保する。
- ・ 想定職員数(5人)より、5台確保する。

###### e. 予備スペース

- ・ 文献資料(注3)から、 $(a+b+c+d) \times 0.2 \sim 0.3$ 程度確保する。
- ・  $(20+2+5+5) \times 0.2 = 6台$

###### ② マイクロバス・大型バス

- ・ 既存施設あるいは周辺施設における一会葬当たりの平均的台数を調査し、これに計画目標年

次の同一時間帯(集中日)の稼働炉数を乗じて車両台数を算出する。

- ・ アンケート調査より、マイクロバス1台/一会葬当たりとする。
- ・ 1台×集中日稼働炉数5基=5台

<b>必要駐車台数</b>	
乗用車(タクシー、職員用等を含む)	: 38台程度
マイクロバス	: 5台程度

表-Ⅲ-② 周辺事例による駐車台数の比較

	本計画	A市	F市
① 乗用車( )内は車椅子使用者用	38台(2台)	35台(1台)	26台(3台)
② マイクロバス	5台	3台	3台

## 2.敷地構成と想定面積

### ①敷地構成と想定面積

#### a.建物用地

- ・ 平面計画によるが、ここでは建物規模から約2,800㎡程度を想定する。

#### b.駐車場

- ・ 必要駐車台数より算定
- ・ 43台×46㎡/台=1,978㎡

#### c.構内道路

- ・ 駐車場面積の概ね1.5倍程度を目安値とする。
- ・ 本計画では、アプローチ道路を市道とするため、敷地面積から除外する。

#### d.付帯施設(庭園等)

- ・ 待合部分面積の概ね2倍程度を目標値とする。約1,500㎡と想定する。

#### e.環境緑地

- ・ 施設面積(a+b+c+dの合計面積)と同面積程度確保することが望ましい。
- ・ 本計画では、敷地の周囲が里山であるため、それらを環境緑地とみなす。
- ・ また市民のレクリエーション施設に隣接するため、付帯施設(庭園等)も緩衝空間と見なし、良好な景観形成の観点から約1,500㎡を追加確保する。従って、付帯施設(庭園等)は合計約3,000㎡を確保する。

表-Ⅲ-③ 敷地構成と想定面積

	本計画	文献(注3)
① 対象人口	約11万人	10~20万人
② 人体炉数	5基+1基分予備スペース	6基
③ 立地場所	郊外地	郊外地
④ 斎場の有無	無	無
⑤ 駐車台数	約43台程度	60台
⑥ 建物用地	約2,800㎡程度	2,800㎡
⑦ 駐車場	約2,000㎡程度	2,400㎡
⑧ 構内道路	—	3,500㎡
⑨ 付帯施設(庭園等)	約3,000㎡程度	1,500㎡
⑩ 環境緑地等	—	14,800㎡
敷地合計	約7,800㎡程度	25,000㎡

(注3)出典:建築設計資料 建築思潮研究所編